

事務事業及び予算の執行実績
(令和6年度分)

財務部

目次

財務部の施策等の概要

総務課	財務課	課
財政課	政務課	課
税務課	務経課	課
行建課	政 策	課
建 設	策 策	課
	企 工	課
	備	課
	営 画	
	事	

財務部の施策等の概要

1 施策概要

幸福度日本一の静岡県の実現に向け、自治体としての体質や組織の考え方を変えていくL G Xの理念の下、行政経営革新プログラム2025に基づき、「政策の実効性を高める行政経営」に取り組んだ。

また、持続可能な財政運営を行っていくため、今後10年間の歳入歳出の見込みや、財政運営の目標などを盛り込んだ中期財政計画を策定した。

(1) 行政経営の推進

外部有識者からなる行政経営推進委員会において、行政経営革新プログラムの取組状況、外郭団体の点検評価やファシリティマネジメントの推進について検討を行ったほか、ひとり1改革運動による改革・改善を進める組織風土の醸成、公の施設における指定管理者制度の積極的な活用や運用の改善など行財政改革に取り組んだ。

(2) 県有施設の最適化

総量適正化の取組を進めるため、県有施設のあり方や未利用財産の有効活用等について、部局横断組織により、全庁的な視点から協議を行うとともに、各部局の施設のあり方検討における課題の把握や部局をまたぐ調整等の支援を行った。また、人口減少の加速、施設の老朽化の進行、厳しい財政状況等を踏まえ、令和7年度から令和16年度までの10年間を計画期間とする「第2期静岡県公共施設等総合管理計画」を策定した。さらに、公共施設の整備・運営に民間の能力とノウハウを幅広く取り入れるための意見交換の場として、市町と連携しながら、静岡県官民連携実践塾を開催した。

加えて、県有施設の長寿命化と財政負担の軽減に向け、劣化診断に基づき中期維持保全計画を策定し、全体最適化を図りつつ、修繕工事を適切に実施した。

(3) 歳入確保への取組

県税収入の確保及び収入未済額の縮減に向けて、数値目標を設定し、進捗管理を行うとともに現年課税分滞納への早期着手を図るなど、税務行政の適正かつ効率的な運営に努めた。特に、県税収入未済額の約7割を占める個人県民税については、静岡県個人住民税徴収対策本部会議による取組（数値目標や滞納整理強化月間の設定、県職員の市町への短期派遣、各財務事務所に設置した地区部会による市町ごとの実情、課題に応じた対策の実施等）により、市町と連携した滞納対策を進めた。

また、納税者の利便性及び収入率の向上を図るため、金融機関窓口、コン

ビニのほか、口座振替、クレジットカード、スマートフォン決済アプリ等、納付チャネルを複数用意する方法により、納税環境を整備している。

税外未収金対策については、税外収入債権管理調整会議を開催し、情報の共有化を図るとともに、縮減目標や回収強化期間を設定して、全庁を挙げて未収金回収に取り組んだ。

県有財産の売却については、県有財産の売却計画（2023～2027年度）の売却計画額66億5,000万円に対して、2年目（令和6年度）の売却実績額は5億9,638万円、累計2年間（令和5～6年度）での売却実績額は12億5,600万円、売却率は18.9パーセントとなった。

（４）健全な財政運営の堅持と最適かつ効果的な事業執行

令和6年度当初予算は、県税や交付税等を合わせた一般財源総額が前年度とほぼ同水準にとどまる中で、長期化する物価高騰や、激甚化する自然災害などの諸課題に的確に対応するため、先進的でチャレンジ性のある取組などに予算を重点的に配分する編成を行った。

編成に当たっては、事業のビルド・アンド・スクラップ等による歳出のスリム化と歳入確保に積極的に取り組んだ。

また、持続可能な財政運営を行っていくため、令和7年度からの10年間を計画期間とする中期財政計画を策定し、財政改革に取り組むこととした。

（５）脱炭素社会の構築

新築・建替を行う県有建築物については、令和4年度に策定した「県有建築物ZEB化設計指針」に基づき、設計において効率的にZEB化の検討を行い、実施設計した施設のうちZEB化の対象となる6施設全てにおいて、ZEB Ready（建物のエネルギー消費量を50%以上削減）を達成した。また、既存の県有建築物については、省エネ改修を計画的に促進するため、県内4つの県有施設について現況調査を行い、省エネ改修基本計画を作成した。

2 職員の概要

(単位：人・歳)

区 分	職 員 数			アの平均年齢	アの健康管理区分										未区分	計
	一般職員 ア	その他職員 イ	計 ウ		A 勤務休止	B 1	B 2	C 1	C 2	D 1	D 2	D 3				
						勤務時間短縮		時間外制限		平常勤務						
						要治療	要観察	要治療	要観察	要治療	要経過観察	医療不要				
財務部 計	164	6	170	40	2	0	0	7	0	46	41	59	9	164		

事務事業の概要

財務部組織図

